

新年のごあいさつ



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 山脇 誠

新年明けましておめでとうございます。

皆様には新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。連合会の運営にあたりましては、ご協力とご支援をいただき感謝申し上げます。また、行政をはじめ関係機関の皆様には、シルバー事業にご理解とご指導を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、少子・高齢社会が進展し労働力不足は益々深刻になっております。国は、労働力人口が減少している中で、意欲のある高齢者が年齢にかかわらず働き続けることのできる生涯現役社会の構築をめざして、高齢者雇

用対策に力を入れておられます。そうした中、

それぞれの地域で多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は益々重要になり、期待されているところです。

一方、シルバー人材センターの現状は、全国的には会員数の減少や契約金額の減少などここにきて停滞しております。高齢者の雇用機会が増える中で、シルバーは魅力ある組織かどうか問われている時期に来ていると思います。今一度、シルバーは時代の要請や地域の期待に応えられているかを問い直し、会員の皆様とともに魅力あるシルバーを目指して

行きたいと思えます。

この一年が関係者の皆様にとって明るい年になりますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



鳥取労働局長

丸山 陽一

会員の皆様、新年あけましておめでとうございませう。

昨年は皇位継承による令和時代への変遷がありました。

更に、消費税率のアップ、ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍等、新時代の到来を告げる年でした。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催され、海外からもたくさんの方々が来日されると思っています。

外国人観光客が来日されると思っています。外国人といえ、人手不足対策の一環として、昨年より「特定技能」の在留資格が新設

されました。まだ少数の登録にとどまっていますが、政府目標では五年間で三十四万人の受け入れを見込んでいます。

県内でも人手不足の状況が続き、外国人労働者の受け入れや女性活躍と並び、高齢者の活躍が今まで以上に期待されています。

鳥取労働局では、生涯現役社会の実現を目指し、高齢者が地域で働ける場や社会を支え活動できる場の拡大に取り組んでいます。

政府により昨年六月に閣議決定された『成長戦略実行計画』において、「人生百年時代を迎え、働く意欲がある高齢者がその能力を

十分に発揮できるよう高齢者の活躍の場を整備することが必要である。」とされ、「特に六十五歳以上の高齢者について、多様な形態で雇用・就業機会を確保していくことが課題。」とされています。

シルバー人材センター事業の発展・拡充は、国の施策実現や地域社会の期待に応えるために重要な役割となっています。

会員の皆様には、今まで培った経験を活かし、就業、ボランティア活動、地域活動など幅広く社会に参加・貢献して頂き、今後も社会の支えとして一層ご活躍頂きますようお願いいたしますとともに、シルバー人材センター事業の益々のご発展と、会員の皆様のご健康を祈念しまして、新年に当たってのご挨拶といたします。

シルバー人材センター 理事長の抱負



公益社団法人鳥取市シルバー人材センター



理事長 田中 勉

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

我が国においては、少子高齢化が進展し、長期の人口減少過程に入っています。

政府は、生涯現役社会の実現に向け、継続雇用年齢を六十五歳以上に引き上げる検討を開始する等、高齢者を労働人口に活用する施策を施しています。

このような中であって、担い手となるシルバー人材センターの役割は、より一層大きくなっています。

鳥取市シルバー人材センターは、短時間就業、早朝・夕夜間就業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野の労働力の確保に貢献するとともに、国庫補助制度の算定基礎となっている労働者派遣事業に鳥取市の財政支援を受けながら、積極的に取り組んでまいります。

また、何と云いましても、会員が健康で生きがい

のある生活を実現し、地域社会に貢献するという目的を達成するため、鳥取市シルバー人材センターは、鳥取市をはじめとする行政関係機関と連携を図りながら、事業活動を展開し、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしていきます。

終わりに、皆様にとって、明るく、希望に満ちた良い年になりますことを祈念して、新年のごあいさつといたします。

公益社団法人米子広域シルバー人材センター



理事長 仲村 一男

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様、行政・関係機関の皆様のご支持により高齢者の活躍の場が図られていることを厚くお礼申し上げます。

当センターは平成三十年から令和元年度にかけて設立三十五周年記念事業として記念式典、シルバ

ー記念まつり、ボウリング、グランドゴルフ大会を開催する等、節目の年を祝い、今後のシルバー事業の発展を誓いました。

さて、全国的な課題であります会員拡大は、当センターでも厳しい状況ですが、会員の皆様の勧誘活動や入会説明の拡大取組みにより減少傾向に歯止めがかかってきたと思います。今年は女性部会を立ち上げますので、相乗効果も期待して会員拡大に取り組んでいきます。

業務運営につきましては、就業及びボランティア活動等の社会参加を促進する組織活動助成金交付制度を創設しましたので、これの活用により地域・職能班等の活動を円滑に進め、事業活動がより活性化するように推進していきたいと思っております。

また、安全就業につきましては、令和元年度は重篤事故は起きていないものの人身事故、物損事故が数件発生していますので、「安全はすべてに優先する」を念頭に置きながら、会員が健康であること、地域社会からの信頼面からも無事故に向けて取組んでいきます。

本年も関係各位のご支援、ご指導を賜りますようお願いいたしますとともに、ご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

公益社団法人 倉吉市シルバー人材センター



理事長 山脇 誠

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、少子・高齢社会が進展し労働力不足は益々深刻になっております。国はこうした状況に対応するため、企業の六十五歳までの雇用確保措置の徹底やハローワークでの高齢者再就職支援窓口の強化が行われ、高齢者への期待はますます高くなっております。そうした中、それぞれの地域で多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は益々重要になり、期待されているところです。

一方、シルバー人材センターの現状は会員数がなかなか増えない課題をかかえており、当地においても同様で、契約金額も下降している状況にあります。まだまだ働く意欲のある高齢者は沢山おられると思いますが、増加策の妙案が見つからないのが現状です。ひとつひとつ根気よく進めていければと思っております。高齢者にとって魅力ある、働きやすいセンターとして、さらに地域から愛され、利用者から信頼されるセンターを目指して、微力ではありますが取り組んでまいりたいと考えております。

この一年が、会員の皆様にとって明るい、希望に

満ちた年でありますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。

公益社団法人 境港市シルバー人材センター



理事長 高松 武美

新年明けましておめでとうございます。皆様には令和二年の新春をお健やかに迎えのこととお喜びを申し上げます。

今年には東京オリンピックが開催される記念すべき年でもあり、災害などのない、良い年になりますよう祈らずにはおられません。

さて、我が国は少子高齢化の進行により生産年齢人口が減少し、全国的にも県内においても人手不足に悩む企業が多くなっています。当市においても外国人労働者を受け入れる企業が多くなりつつあり町のあちこちで外国人労働者をよく見かけるようになりました。

こうした中、国においては、生涯現役社会の実現に向けて高齢者が希望や特性に応じた活躍が出来るよう多様な形での就業の仕組みが検討されています。

今の六十五歳以上の高齢者は昔に比べて身体機能、認知機能が十歳ほど若返っているといわれます。年齢に関わりなく豊富な経験と知識、技能を活

かし地域において生き生きと働くことよって地域社会の活性化にとりましても、シルバー人材センターの役割は益々重要になるとも期待をされております。

当センターでも、剪定班、刈払班等は仕事の依頼を受けてから一か月以上待って頂くような状況が続いており、これの解消のためにも会員の拡大は喫緊の課題となっております。

企業における、継続雇用や、定年の延長など会員が増えない状況はありますが、働く意欲のある元気が高齢者はまだまだおられます。

会員の拡大について手を尽くして取組んで参りたいと考えています。

そのためにも、地域に信頼され、会員が誇りをもてる、魅力あるシルバー人材センターづくりに取り組んで参りたいと存じます。

本年が、会員の皆様、関係者の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈念して新年の挨拶といたします。



公益社団法人 南部広域シルバー人材センター



理事長 有馬 均

新年あけましておめでとうございます。令和になつて初めての新年、皆様にはお健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

近年は、自然災害が多発し、たくさんの方が亡くなられ、またたくさんの方が被災されました。本年は自然災害はもとより、事件・事故のない平穏な年になつてほしいと願っています。

さて、私の南部広域管内（南部町・伯耆町）においても少子高齢化が進み人口減少が続いています。当センターの事業実績をみますと多少なりとも増加しているところですが、会員は減少傾向にあります。会員拡大のためには役員会員が一丸となって努力しなければならぬと思っています。

そして、就業するに当たっては、当然のことながら事故「ゼロ」を目指し、適正就業、法令順守はもとより「凡事徹底」こそが基本であると思います。

また、センターは地域の皆様から信頼され喜ばれる存在として地域社会へ貢献しなければなりません。

終わりに、関係機関、行政、地域の皆様の温かいご理解とご支援に感謝し、本年が皆様にとって明るい希望に満ちた良い年であることを祈念して新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 智頭町シルバー人材センター



理事長 小林 實夫

新年明けましておめでとうございます。

鳥取県シルバー連合会会員及び各センターの会員におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、人生一〇〇年時代を迎えるにあたりシルバー人材センターの役割は、ますます重要といわれる中、センターを取り巻く環境は年々厳しくなっております。

といえますのも、担い手である会員の拡大につきましては、理事の方々及び会員一人ひとりに勧誘をお願いしているものの、企業の定年延長、再雇用などにより会員の対象者が高齢化しており、新規会員も少ない傾向が続いており、退会希望者に出来得る仕事に代わっていただいたり、慰留を強く願うするなどして、何とか現状を維持しておるような状況であります。

こうした状況下で当シルバー人材センターでは、介護分野の現役世代を支える事業として本年度も引き続き森のミニデイ「杉の郷」を運営し、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活をおくることのできるよう、自宅にこもりきりの利用者の孤独感の解消や身体機能の維持、家族の介護の軽減等を図る

ことを目指します。

さらに、身体障がい者や要介護者など、一人では公共交通機関を利用することが困難な移動制約者に対して、ドア・ツー・ドアの個別移送サービスを提供する福祉有償運送及び公共交通を補完し、高齢者の日常生活を支援する公共交通空白地有償運送も本年度も行い住民生活を支えていきたいと考えております。

終わりに、本年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。

公益社団法人 岩美町シルバー人材センター



理事長 渡楨 正章

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。平素は皆様に格別のご高配を賜り、感謝申し上げます。

五月の総会にて、理事長に就任してから八ヶ月目を迎えました。理事長という重い責任を任せられることになり、身の引き締まる思いで日々過ごしております。少子高齢化社会においての労働力不足の担い手として、シルバー人材センターの役割は年々高ま



っており、町民、行政、会員の協力を得ながら、期待に応えるべく、魅力あるセンターとなるよう努力していきたいと決意を新たにしているところです。

しかし、当センターにおいても雇用延長や再雇用の制度など、高齢者雇用確保措置による入会者数の減少、会員の高齢化による退会者の増加と、センター運営の大根底である会員の確保が課題となっています。会員への入会促進は、何より口コミによる勧誘が有効であると、身をもって実感しており、会員増加に向けた取り組みを一層強化していきたいと考えています。

一日も早く明るい話題を共有できるよう、皆様と一丸となって取り組んで参りたいと思っております。

県内センターの皆様方に更なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を祈念して、新年の抱負いたします。

公益社団法人 湯梨浜町シルバー人材センター



理事長 小居 貞歳

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、元号が令和になり新たな時代に入りましたが、十月には消費税改正があり日常生活はもちろん、シルバー業務にも大きな変化がありました。そうした状況でも高齢化は進みシルバー年代が占める割合は着実に増加しています。

また、ここ数年前からの人手不足も解消する兆しもなく深刻化し高齢者の就業機会も増加しています。が、シルバー人材センターの登録者は全国的に減少の一途です。湯梨浜町においては会員の減少はないもののほぼ横ばいでなかなか増えないのが現状です。全国シルバー連合で掲げる会員一〇〇万人構想は重要な目標ですが一筋縄ではいかない目標です。

また当センターにおいては、会員の増加と新規業務の開拓はもちろん重要ですが、会員の高齢化に対応した後継者の専門的な継続的な人材養成が今後の大きな課題でありますので、広報紙等の活用はもちろん、会員による地域の未登録高齢者へ地道で継続的な勧誘等周知活動による働きかけに力を入れていきたいと考えています。

令和元年度は公共業務民間業務共に積極的な働きかけの成果もあり、受注額も増額しました。令和二年は前年の実績を継続することを目標としながら、適正就業を第一に安全対策を推進し、地域の皆様の温かいご理解ご協力を感謝しながら各事業に取り組みんでいく所存です。

この一年が、関係各位にとって明るく楽しい年になりますことをご祈念申し上げます。

公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター



理事長 田中 明

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、令和となって初めての新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。日頃はシルバー人材センターの事業運営にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

少子高齢化がますます進行するなか、シルバーへの仕事も依頼も多様化しており、それに対応できる会員の確保や研修機会の提供、さらには会員と仕事のマッチングをどう円滑に進めていくかなどが課題としてあります。

とくに会員の増員は喫緊の課題であります。当シルバーも年々会員が減少し、平成三十年度末には百

四十九人（平均年齢七十二・五歳）になり、このままではCランクに格下げで財政運営が非常に厳しくなります。今後はあらゆる手法・機会を通じて、地域社会を支えるシルバーの魅力を発信していくことが重要と考えます。

また、事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を基本に、関係機関のご支援とご協力を頂きながら、地域の皆様に愛され信頼されるセンターを目指してまいります。

終わりに、この一年が皆様にとって希望に満ちた良い年であることを祈念して、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 北栄町シルバー人材センター



理事長 日置 勝彦

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様のご協力により会員の維持拡大、安全就業の推進により重篤事故もなく、順当に北栄町シルバー人材センター事業の運営を進めることができました。ご協力に感謝申し上げ、引き続きよろしくお願いたします。

さて、今年の重点目標は、昨年同様に働く仲間を一人でも多く増やすこととします。現状を見れば、

少子・高齢化の進行により、あらゆる分野での要員不足、定年延長や再雇用の増加など、働き方が大きく変わってきていること。老後の生活不安に、退職を遅らせてでも働きたい、働かざるを得ないといった高齢者が多く、臨時的で短期的かつ軽易な業務のシルバー人材センターへの関心は薄い。等々と新たな会員拡大の環境は本当に厳しいものがあります。

だが、お客様の要望に応えるためには、高齢による退会者を上回る新会員の拡大で純増を果たしていかなければなりません。まさに、会員拡大は喫緊の課題です。

そこで、皆様による口コミで以下のように拡大を呼び掛けていただきたく願います。①友人・知人への働きかけ。②加入者のいない集落の方への働きかけ。③現役時代の知人へ働きかけ。④お客様との談話の際での情報交換。

次には、何よりも留意し、気を付けねばならないのが「安全適正就業」です。

会員の皆様は高齢者ですので、緊急時の対応は若い時のようにありません。

そのためにも必ず安全帽や安全ベルト、ゴーグルの着用。用具の適正管理。脚立などの安全設置。交通事故防止。等々、作業環境には十分注意をして安全就業優良団体としての地位を維持し、さらに取り組みの前進へ向けて安全適正作業、事故ゼロへ向けて取り組んで参りましょう。

「自らの命は、自ら守る。」このことは大原則です。この一年、皆様とご家族にとって、幸多い年にありますことをご祈念申し上げますとともに、課題と抱負を申し上げ新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 大山町シルバー人材センター



理事長 西川 昌康

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は目標とした会員の拡大と就業先の開拓、魅力あるシルバー人材センターづくりに向けてまいりましたが、成果は今一步の現況です。

会員の減少、事業の低迷は組織の弱体化を招く大きな要因であり、組織として危惧するところです。

会員の減少は、昨今の定年の延長、再雇用の拡大などが一因ですが、更には会員の高齢化による退会などが主要因になっていることです。この現況を打破する短期の対処方策は、早期退会者の引き留めはもとより女性会員の勧誘・獲得を積極的に進めていくことが大きな課題の一つと考えています。

当然のこと会員の拡大は就業先の開拓を図らなければなりません。地域の特性を活かして高齢の営農

者、独居者などに対する支援を伴う営農・家屋の管理等を開拓とすることで、地域に貢献するセンター活動の方向性とも一致すると思うところです。

会員の拡大、就労先の開拓は、組織の両輪として強固に取り組み必要があるわけです。

シルバー人材センターを取り巻く環境は決して甘いものではありません。地域に密着して、真心を込めて活動するシルバー人材センター本来の姿で、日々組織強化に努めたいと思います。

皆様のご健勝ご活躍を祈念致します。合わせて、新年の抱負といたします。

一般社団法人八頭町シルバー人材センター



理事長 衣笠 春壽

新年あけましておめでとうございます。県シルバー連合会、並びに各センターの会員の皆様にも令和二年目の新春をつつがなく迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年令和の年を迎えて、国、国民を上げての様々な儀式、行事が華やかに続き、喜び、高揚感、改めて皇室を近くに感じる一年であったように思います。私達シルバー会員として高齢を迎える世代にとっても、昭和・平成・令和とそれぞれの時代の中

に生き、思いも新たに意気軒昂にすごされたものと思えます。

さて、令和を迎えての高齢世代を巡る環境は知れば知る程というか、まことに荒れ模様を見せております。

台風、大雨による河川の氾濫、未曾有の大水害、長い猛暑がもたらす中での高齢者の被害の重さ、多さ。心を尽くして、影響を受けられた多くの高齢の方々、会員の皆様に励ましの思いを伝えたいと思う新年の志であります。

八頭町シルバー人材センターは、毎年人口が三百人近く減少、高齢化率三十五%、地域の課題がますます複雑となる八頭町の中で、会員百五十名、幸いにも明るく元気と言いますか、会員減少もなく、地域の期待に応えるべく活動を進めているところです。が、新年も深刻な課題、世情の多難な問題は一層きびしくせまってくることに違いはありません。改めて事故のない安全・安心なシルバー人材センターとして、穏やかに会員同士の連携融和を図り、意気盛んにと思うところであります。

皆様のご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

江府町シルバー人材センター



理事長 山本 信男

新年あけましておめでとうございます。

県シルバー連合会、並びに会員の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元号も改まり、即位の奉祝行事も執り行われ新しい時代がスタートいたしました。しかし一方では、地球温暖化による自然環境の激変による、台風・大水害・猛暑により被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

江府町シルバー人材センターは設立以来基本理念として「自主・自立、共働・共助」を柱としております。

会員の高齢化と定年延長のため、新規入会者が少なく仕事のピーク時には、人手不足となる事もあり、会員一人ひとりが地域に声をかけ会員拡大を推進する「声かけ運動」を実施し、「小さくても輝くシルバー人材センター」、「地域の皆様から必要と重宝されるシルバー人材センター」、「会員同士の信頼関係を尊ぶシルバー人材センター」を礎として活動を進めてまいります。

これからの農家は、核家族と高齢化により様々な作業を依頼されるようになりつつあるところです。



そのため会員拡大は急務であると思います。会員の皆さんには各種技能講習に積極的に参加し技能向上をはかり、多様なニーズに対応していきたいと思えます。

昨年に引き続き、一斉ボランティア活動の実施、交流サロン定期講座等へ出かけ町民の皆さんとの意見交換を行い、町民の皆さんに親しまれるシルバー人材センターとして定着して行きたいと思えます。今後とも皆様に一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

日南町シルバー人材センター



会長 段塚 傑

新年明けましておめでとうございます。

令和の初春、会員の皆様におかれましては、喜びに満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は事業運営にあたりましてはご指導ご鞭撻を頂き誠にありがとうございました。

昨年は日本列島各地で台風十五号、十九号により甚大な被害が発生いたしました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を願うところでです。

さて、日南町シルバー人材センターにおいては、適正就業と安全就業の理念に徹し、無事故で、計画通りに運営できたことは誇りであり、喜びとするところでもあります。本年も初心を忘れずに健康維持に留意し、事業実績の向上に努めたいと思えます。超

高齢化社会の中で多様化する社会の要請に対応していかなくてはなりません。会員の経験と知識、技能を十二分に発揮し、多様化する発注者のニーズに込え地域住民の要望に応えていくことが大切であります。

そのためには、会員自身の健康維持と生きがいのある生活を送り、地域社会に貢献するとともに、行政機関と連携を密にし、事業の運営に当たりたいと思えます。

最後に、今年一年の関係各位の一層のご指導とご支援を賜りますと共に、会員皆様のご健康とご多幸を祈り新年のご挨拶といたします。

三朝町シルバー人材センター



理事長 田渕 忠昭

令和二年正月元旦。令和最初の元旦を迎え感慨深い思いがいたします。

平成時代いろいろな災害が日本のみならず地球規

模で、我々生きるものすべてに降りかかってきました。昨年は大規模な災害が多発する記録的な年で、連続して台風や大雨と今までには経験のない災害が日本列島を襲いました。被害を受けられた皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、当センターにおきましては、昨年の依頼や受注が大変多く特に最近の傾向ではありますが、個人の方の依頼がどんどん増えてきております。農業に限らず人手不足であり、屋敷周りや田のあぜ草刈り、剪定業務等々の依頼が増加傾向にあり、日程や人員調整に事務方も大変苦労しております。特に当センターのような小規模な組織は、会員の増加、会員の高齢化に対応した後継者の育成が今後の課題であります。どこの会社でも定年延長、その後の継続雇用の動きがあり増加に至らない厳しい状況が伺えます。

いずれにしても、町民からの依頼には出来るだけ対応して行きたいと思っております。

今年も関係各位のご支援とご協力をうけ賜りますとともに、皆様の繁栄とご多幸を祈念し新年のあいさつといたします。



令和元年度事業実施状況

令和元年度 定時総会

令和元年六月十九日（水）倉吉市にて定時総会を開催し、すべての議案が原案どおり承認された。

第一号議案

平成三十年度事業報告承認の件

第二号議案

平成三十年度決算報告承認の件

第三号議案

第十一期役員選任の件

第一回臨時理事会

令和元年六月十九日（水）倉吉市にて第一回臨時理事会を開催した。

議案「第十一期代表理事及び業務執行理事の選任について」は、全会一致で承認された。

第一回理事会

令和元年六月四日（火）倉吉市において開催した。審議された議案は次のとおりで、いずれも原案のとおり承認された。

第一号議案

令和元年度定時総会について

第二号議案

平成三十年度収支補正予算書について

第三号議案

平成三十年度事業実施報告書及び収支計算書について

第四号議案

令和元年度収支補正予算書について

第五号議案

新事務局長の選任について

第六号議案

第十一期理事・監事候補者の選任について

第二回理事会

令和元年十月二日（水）倉吉市において開催し、すべての議案が承認された。

第一号議案

令和元年度収支予算書について

第二号議案

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会のシルバー派遣事業に関する諸規定の一部改正について

第三号議案

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員就業規則の一部改正について

第四号議案

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会中期推進計画について

第一回理事長・会長、事務局長会議

令和元年六月十二日（水）倉吉市において開催した。

議題 第一回都道府県シルバー連合事務局長会議

伝達

第二回理事長・会長、事務局長会議

令和元年十月二十三日（水）倉吉市において開催した。

議題 第二回都道府県シルバー連合事務局長会議

伝達

令和元年度経験交流大会について

鳥取県シルバー人材センター 連合経験交流大会

令和元年十月三十日（水）倉吉市において開催し、県内シルバー人材センター役員・会員等八十名が参加した。

基調講演は、医療法人・社会福祉法人理事長 小田貢氏の「シルバー活動で、ゴールドな人生を」であった。

講話として、日南町シルバー人材センター会長 段塚傑氏「シルバー事業について」

（公社）境港市シルバー人材センター事務局長 木下泰之氏「事務局長に就任して七ヶ月を振り返って」（公社）智頭町シルバー人材センター事務局長 寺

坂英之氏「シルバー人材センター事務局長に就任して」

(公社)岩美町シルバー人材センター事務局長 上野秀司氏「事務局長になって」の発表があった。

安全・適正就業推進委員会

六月七日(金)倉吉市において開催し原案通り承認されました。(出席者十三名)

議題

- 一 令和元年度安全・適正就業推進事業基本計画について
- 二 平成三十年事故(傷害・賠償)発生状況及び適正就業推進事業の実施状況について
- 三 令和元年度安全・適正就業対策実施計画について
- 四 令和元年度シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間実施要領について
- 五 その他

安全・適正就業研修会

七月十七日(水)各シルバー人材センター役職員・会員九十六名が参加。

最初に安全就業標語募集に応募された二百二十一編の中から最優秀賞一編・優秀賞五編・入選五編を表彰。

最優秀作品は

「気をつけよう 慣れた仕事も 事故潜む」

続いて「講話」鳥取県警察高齢者交通安全教育指導員穴戸隆氏の「高齢者の事故防止について」、事例発表(公社)大山町シルバー人材センター副理事長高塚利夫氏「安全・適正就業について」、事例

発表(公社)琴浦町シルバー人材センター剪定班班長加藤祥雄氏「剪定作業で日頃心掛けてること」、事例発表(公社)八頭町シルバー人材センター事務局局長矢山貴氏「就業中の事故事例発表(三件)」の発表があり最後に全員で「安全・適正就業宣言」を唱和して終了しました。

安全就業講習会

令和元年度の講習会は、東部地区と中部地区では「チェンソーの取り扱い」を実施しました。

西部地区では令和二年三月三日に「交通安全について」で実施予定です。

東部地区 九月十八日(水)参加者十九名

中部地区 十二月十一日(水)参加者二十一名



東部地区 9月18日(水) チェンソー講習



中部地区 12月11日(水) チェンソー講習



**シルバー人材センター事業
普及啓発促進月間**

令和元年十月十九日(土) イオンモール日吉津店
東館前において、啓発用ポスター、リーフレット等
啓発用品を配布し、PR活動を実施した。





各種技能講習開催

職場見学・就業体験するには
高齢者活躍人材確保育成事業

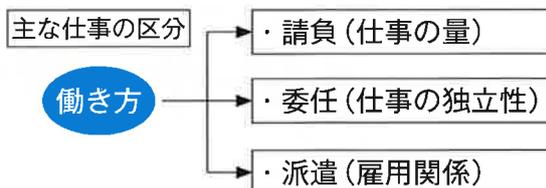
鳥取県シルバー連合会 🔍 検索

豊かな知識と経験を 生き生きシルバー

県内の元気な高齢者が、様々な分野の仕事に必要な能力を身に付け、シルバー人材センターに入会し、就業して頂くための技能講習と就業体験・職場見学を実施しました。



開催地	講習名	日程（開催順）	日数	定員	受講者	修了者
米子	草刈・技能講習	6月12日（水）	1	10	12	12
湯梨浜	草刈・技能講習	6月18日（火）	1	10	5	5
鳥取	草刈・技能講習	6月25日（火）	1	10	12	12
米子	剪定・技能講習	7月2日（火）～3日（水）	2	10	11	11
日吉津	調理補助スタッフ講習	7月22日（月）～24日（水）	3	10	6	6
鳥取	調理補助スタッフ講習	8月5日（月）～7日（水）	3	10	10	10
倉吉	子育て支援講習	9月26日（木）	1	10	4	4
米子	介護送迎運転講習	10月8日（火）～9日（水）	2	10	8	8
米子	介護補助講習	10月23日（水）～24日（木）	2	10	7	7
鳥取	介護補助講習	11月12日（火）～13日（水）	2	10	5	5
合計	10		18	100	80	80



職場見学・就業体験するには
高齢者活躍人材確保育成事業

職場見学会開催

鳥取県シルバー連合会

検索



各種の技能講習と合わせて、地元企業さんのご協力のもと、「職場見学会」・「就業体験会」を開催し、受講された方々の就業機会確保に努めました。

会場	職場見学・就業体験	日程(開催順)	日数	定員	参加者
米子製鋼(株)	草刈・就業体験	6月13日(木)	1	10	9
倉吉パークスクエア	草刈・就業体験	6月19日(水)	1	10	5
JA鳥取いなば	草刈・就業体験	6月26日(水)	1	10	13
個人宅	剪定・職場見学	7月4日(木)	1	10	11
うなばら荘	調理補助・職場見学	7月25日(木)	1	10	6
白兎会館	調理補助・職場見学	8月8日(木)	1	10	10
倉吉東こども園	子育て支援・職場見学	9月27日(金)	1	10	3
仁風荘	介護送迎運転・職場見学	10月10日(木)	1	10	8
仁風荘	介護補助・職場見学	10月25日(金)	1	10	7
いなば幸朋苑	介護補助・職場見学	11月14日(木)	1	10	4
合計	10		10	100	76



介護施設の見学



剪定作業の見学



調理現場の見学



子育て施設の見学



新規会員獲得を目指した事業展開に、この度の技能講習を受講された方々の声をお届けします。



草刈・技能講習 受講が縁でシルバーに入会



米子市花園町
嶋岡 裕一

皆様、こんにちは。
私は新聞に入っていた「草刈・技能講習」のチラシを見て応募し、二日間法令・実技を学びました。その縁でシルバーに入会して今は、軽度生活援助の方から依頼された草取り、家の掃除・整理などの仕事をさせていただいております。

以前は、シルバー人材センターという響きをあまり心良く受け入れませんでした。一緒に先輩方と行動を共にし、ご指導をして頂き、先輩達のパワ

ルさ、笑顔、そして皆さんとても若くて、自分は六十四歳ですが、逆にパワーを頂いております。

そして先日、「月刊シルバー人材センター・高齢社会を生きる」を拝見しました。

「和顔愛語の精神で世代を超えて「志縁」をつくる」に目が留まりました。

その一節ですが、シニアの意識を変えていくためにはどのようなことが必要でしょうか。の問いに、「誰かから頼りにされる」「何かを頼まれる」といったことが答えになるかも知れません。自分からはなかなか動けなくても、人から感謝されたり、褒められたりする経験があると、少しずつ変われるような気がします。

そのためにはシニアになっても、シルバー人材センターで就業したり、ボランティアなどで社会参加を積極的に行っていくことが大切だと思います。

まずは「和顔愛語（わけんあいご）」に気を付けること。これは高齢になればなるほど努力して、和やかな笑顔を作っていた方がいいということです。又、思いやりのある言葉遣い、愛語も心掛けるようにした方が良いでしょう。なるべく自分の周りの人に気を配り、「大丈夫?」「今、何に困っているの?」と相手をいたわるようにする。シニアになると社会や人と疎遠になってしまうことが多いので、自分から人に良い印象を与えていくことが大切です。幸せになりたかったら相手に幸せを与えることから始めましょう。

これは本当ですね。皆様、大いに楽しみましょう。（公益社団法人米子広域シルバー人材センター所属）

調理補助スタッフ講習 「飲食業はどこも人手不足!」



鳥取市吉成
長谷川 一美

令和元年度「調理補助スタッフ講習」を受講しました。新聞チラシで知り、興味を持ち応募しました。半分無理かなあと思っていたら、決定通知が届き大変喜びました。

なぜなら、若い時分、調理関係の仕事をしていたからです。今の時代の生活習慣病予防の食事とか減塩食、嚥下困難な方の食事はわからないので大変勉強になりました。

私は、もともと薄味なんです。講習初日の減塩食調理には、目が鱗で、ほとんど味がしないのを感じました。他の受講者も同じ感想でした。見て聞くだけでは分からなかったことだと思いました。きちんと調味料の分量を計り調理することの大切さを改めて再確認しました。普段は目分量で適当に家で料理してたから…。

講習を三日間受講し、家での食事のメニューが増えました。講師先生もお忙しいとは思いますが、願わくは、冬の講習も受講したいです。

職場見学は、学校共済組合の宿泊施設・白兔会館でいろいろなお場所を見学、特に調理場は、清潔感があり仕事しやすいと思いました。

講習会を受講して、シルバーに入会したわけですが、これは強制ではありませんでした。でも、また講習会に出たい気持ちがあり入会しました。

あと、シルバー人材センターからの紹介で鳥取市に古くからある「うどんとかつ丼の店」で働きましたが、人手不足みたいで、十一月で閉店になりました。飲食業はどれも人手不足で、私も含めて職場の半数は高齢者でした。

働き口はいっぱいあると思います。体が元気なうちは働きたいと思います。

シルバー人材センターの皆様、有り難うございました。

(公益社団法人鳥取市シルバー人材センター所属)

介護送迎運転講習

介護を通じて社会貢献を



江府町下安井
三輪 喜清

受講のきっかけは、定年退職後、農業に従事してました。職業的には営業一筋で、総てにおいて「人に助けられ、人に生かされた人生」でした。少しでも人に恩返しをしたいと日頃考えていた時に介護送迎運転講習の募集があり、すぐ応募しました。講師の方は、実際に介護施設を経営運営されている方と介護福祉士の二人の方でした。現状の介護事情を含めて、大変有意義な話でした。

介護を受ける方は、要介護3以上の方が多く、自分の気持ちをつましく表現できない方が見受けられるので、介護施設利用者の顔の表情・行動をよく見守ることを学びました。利用者への目配り・気配り・

心配りの三要素が重要だと教えられました。

職場見学では、実際に介護施設で講習を受けたことをおさらいしながら、現場でリアルに、送迎運転者が利用者の方を降車する順序を見させて頂き勉強になりました。

自分に出来るかなと不安は多大にありますが、それより介護を通じて社会貢献ができればとの思いが強く、シニア世代を元気に過ごそうと思います。

令和元年十月八日から十日の短い三日間でしたが、関係者の皆様方へ厚くお礼申し上げます。

(江府町シルバー人材センター所属)

介護補助講習

介護施設の現場での驚き



鳥取市湖山町
岩本 英子

令和元年六月で退職しましたが、自分的にはもう少し仕事をしたいという気持ちと、これからの生活はゆっくりという気持ちが半々で、とりあえずシルバー人材センターへ入会させていただきました。

介護補助講習の案内を頂き、これから老後を迎えるにあたり不可欠な問題でもあり、以前から機会があれば勉強したいと思っていたので受講させて頂く事にしました。

実際に現場でご活躍されているお二人の講師のもとに、初めの二日間は技能講習、最後の一日は職場見学という日程でした。

一日目は、元気な高齢者が支える高齢社会を目指してという内容で、認知症に対しての理解や移動・移乗といった車イスの使い方、障害のある方のサポートの仕方、コミュニケーションの取り方等を教えて頂きました。今まで障害のある方と接する機会がなかった私にとって、実際に目隠しをして歩く体験は不安がいっぱいでした。

今後このような場面に出くわした時には、声をかけてわずかながらもお手伝いができるのではと思いました。

二日目は、起床、食事、入浴、トイレ等に関する周辺業務を細かく教えて頂き、特にトロミをつけた飲み物の試飲や半身麻痺の方の衣服の着脱等を体験できた事は、即、役に立つ内容でしっかり記しておかなければという思いでした。

三日目は、職場見学で「いなば幸朋苑」に行きました。沢山のスタッフがおられ、施設もきれいに保たれており、介護士のお話の中からも手厚い介護がなされていると感じ、安心した気持ちで帰りました。介護の問題は、今後生活していく中で切り離せない事として、まだまだ学ぶ必要があると思うと共に、まず自分がいかに健康寿命を延ばす事ができるか日々努力したいと思えます。

このような機会を与えて下さったシルバー人材センターの方に感謝すると共に、今後も多方面にわたる講習等を検討下さいますようよろしくお願い致します。

(公益社団法人鳥取市シルバー人材センター所属)





公益社団法人 米子広域シルバー人材センター

事務局長 吉田 浩一

当シルバー人材センターは、平成三十年一月で設立三十五年を迎えました。平成二年十月日吉津村エリアを含め広域化、平成十七年四月米子市と旧淀江町の合併による統合、平成二十六年四月の新公益法人への移行を経て、会員数八百名規模の広域シルバー人材センターです。平成三十年度の入会者は百一名、退会者は百十七名で会員の移動率は二十七・九%、全体の約四分の一以上三割近くの会員が入替っています。粗入会率は十年前から〇・六ポイント下がりが一・五%でした。

事業ごとの実績は次のとおりでした。

【受託事業】 Ⅱ受注件数四千九百十三件、就業延べ人員五万三千三十七人日、契約金額一億八千九百三十万円で、就業率は六十五・一%。

【派遣事業】 Ⅱ受注件数七十件、就業延べ人員一万八百七十九人日、契約金額四千四百六十二万円で、就業実人員は百五十一人。

【職業紹介事業】 Ⅱ求職者数、紹介者数、就職者数

いずれも実績〇。

合計の就業延べ人員は六万二千二百六十六人日、契約金額二億三千三百九十一万円。総合した就業率（一度でも受託事業か派遣事業で就業の正味実績者の割合）は七十五・三%でした。

会員一人あたりの月平均では、就業日数が六・七日（全会員）から八・九日（実会員）、報酬額（配分金・賃金等）は二万四千四百円（全会員）から二万八千四百円（実会員）で十年前の当SC水準からは、ほぼ横ばいです。

具体的な事業では、設立三十五年記念事業で平成三十年十一月に事業所・組織あて感謝状贈呈、功労会員・関係者の表彰及びアトラクション上演の「記念式典」を実施し、平成三十一年四月に事業周知のため市民向けに「記念まつり」を実施し好評をえました。

また、会員の増強のための方策を実施するなかで、五年目になりますが、具体的な「仕事」から説明し就業のマッチングと入会者増を図る「仕事の説明会」を年に一、二回実施していますが、なかなか効果が高まらなくなり、新しい手法の構築も必要になってきました。

他に、現状、就業機会の創出や就業以外の社会参加、会員組織の活性化を図り機能強化に資するため、二年ほど前に「組織活動助成金」交付の仕組みを規程化しました。改良中です。またの機会にご案内できればと思います。





公益社団法人 智頭町シルバー人材センター

事務局長 寺坂 英之

智頭町は鳥取県の南東南に位置し、周囲は一、〇〇M級の中国山脈の山々が連なり、その山峽を縫うように流れる川々がひとつになって千代川となり、日本海に注いでいます。

「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、四季を通じて自然豊かな表情を見ることができ、芦津溪谷や板井原集落はまるでタイムスリップしたかのような空間を味わえる場所です。

町内は県内で最大の宿場町として栄え、その名残を止める史跡や道標など、往事を偲ばせる町並みが残っています。

また、智頭宿の中心部に位置する石谷家は、大正八年から昭和四年にかけて建てられた建物群で、現在は町に寄贈され、一般公開されており、約四十の部屋数を有した大規模な近代和風建築として、平成二十二年に国の重要文化財として登録もされました。

町内は九割以上が山林で覆われており林業で栄えた町は過疎化と高齢化が深刻化し、仕事を求め町外

へ出ていく若者も少なくありません。

人口は七千人を割り込み高齢化率も四十%を超えている現状で、センターの会員のように元気で働く意欲があり知識や経験豊富な高齢者は、町の活性化や、行政の谷間を支える補完的な役割を果たせる貴重な存在となっております。

自治体と連携を取りながら介護予防事業として取り組んでいる森のミニデイや独自事業の福祉有償運送：公共交通空白地有償運送はこれからも益々需要が増えるでしょう。

高齢の夫婦暮らしや独居世帯も増え、お庭の手入れや田畑の管理の依頼も増えております。

しかしながら国の施策と反し会員数は伸び悩み、さらには平均年齢も年々高くなっていくなか、町民の依頼に答えられないこともしばしばあり、今後働ける会員を増やすことを最重要課題とし、高齢者が「福祉のサービスの受け手

から社会の担い手」として生きいきと活躍できるシルバー人材センターを目指し、今後もより一層に精進します。



石谷家庭園



森のミニデイ「杉の郷」秋のおでかけ

会員の広場



サイクリングの勧め

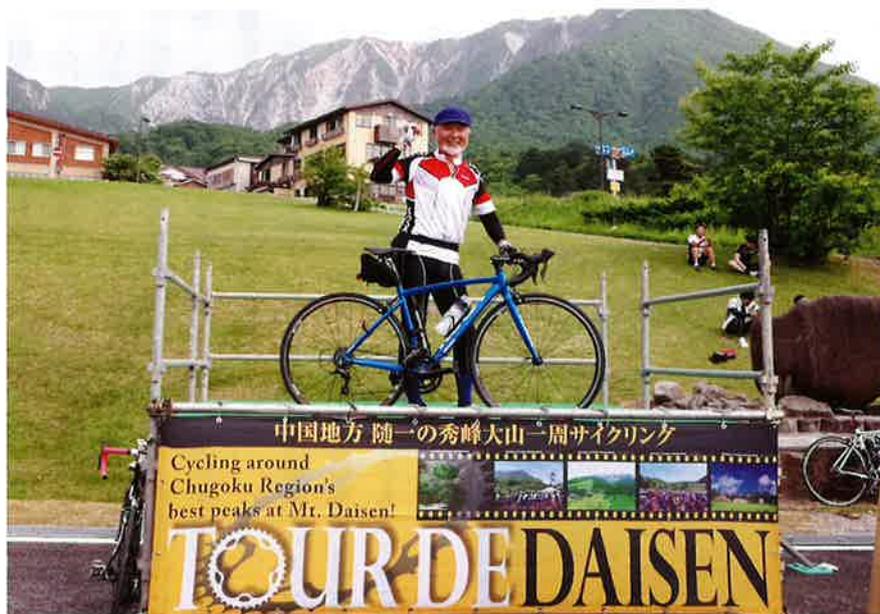


公益社団法人
境港市シルバー人材センター

北野 正

私がサイクリングに興味を持ったのは六十歳を過ぎた頃でした。しまなみ海道を自転車で行くというテレビ番組を見て自転車で渡れることを知りました。自分の足で瀬戸内海を渡ってみたいとなり、早速尾道で前泊し、翌朝レンタサイクルを借り大島まで往復しました。丁度そのころ変形性膝関節症と診断され、先生に相談したら「自転車は膝を伸ばすので良いかもしれない」とのこと。半年後には尾道から今治を一泊で往復し、更に半年後にはしまなみサイクリング大会百二十キロコースを完走しました。心配していた膝の痛みも無くなり正座も出来るようになりました。

一年後のしまなみ高速道を通行止めにしての国際サイクリング大会参加のため、思い切ってロードバイクを買いました。高価なカメラを買っても写真が上手くなることはないのに（解像度が良くなっただけで上手くなったと錯覚している人がなんて多いこ



とか、自転車をごくだけで健康増進と体力維持につながり良いこと尽くめです。
一昨年は目標としていたツールド大山に向けて、週一回の枕木山と松江を往復する練習の甲斐あって無事完走出来ました。今春には弓ヶ浜サイクリングロードが全線開通し、大山がより近くなります。博労座まで上がらなくても明間ペンション村辺りまで気持ち良い汗をかいたらどうでしょうか。県内でも毎年多くの大会が開催されています。それぞれ体力



に合ったコースを選びタイムレースではないので気軽に参加できます。私が今まで参加した大会で一番楽なのはしまなみ国際大会でした。今年は十月二十五日です。
しかし気軽な自転車ですが立派な軽車両です。交差点とマナーを守り安全運転と歩行者への思いやりは言うまでもありません。ヘルメットの着用と自転車保険の加入は忘れなく。

会員の広場

台所からパンの香りが

公益社団法人
大山町シルバー人材センター

古池 八重子

パンと出会って五十年過ぎようとしています。小さい頃から、ヤマザキパンが車で販売に来ていました。欲しくて車の前に行くのですが、親は買ってくれなく淋しかったです。姉は子どもが四人いるので買っていたようでした。私にも二個買ってくれ、一口一口食べたあの味は感動そのものでした。とにかく美味しかったです。

ひよんなことからパン教室があることが分かり、すぐ申し込みましたが無理。三ヶ月待ちました。教室といっても普通の家の小さな台所でした。でもエプロンを買って輝いて行きました。八人も生徒さんがいて生地に触れることができるのは二個だけでした。あんを包み終わりシヨックでしたが生地を計り切って丸め、成型してオーブンで十分焼く、開けるとパンが「こんにちは」と笑顔で声を掛けてくれました。パンの生地からあんがはみ出てよく見ると穴道のパンでした。でも嬉しくてすぐ持って帰りました。四人の姪っ子達はけんかをしながら食べまし

た。姉に、「すべての機具を買うから家で焼いてしっかり練習してみないか。」と誘われて当時六万円しましたが、買ってくれました。仕事が休みのときは朝から粉、砂糖、塩、スキムミルク、シヨートニング、水を計り機械でこねる。二十分こね四十分ねかす。発酵させ四十五分に計り丸め、休ませる。成型して発酵。ふくらましてきたらオーブンで焼く。姪っ子が来て、「八重ちゃんパン焼いてる。嬉しいな。三個食べたい。」「いけんよ二個でおばあちゃんにもあげんとね。」そんな会話が生まれ、焼き上がりオーブンを開けると拍手で迎えます。毎日毎日焼きました。五年経ち、講師、教師、準師範、師範すべてクリアしました。今ささやかな教室を開いています。先生もたくさんおられそれぞれ家で教室をされています。姉、姪、親の気持ちからたくさん幸せをいただきパンに感謝。親、姉、姪に感謝の気持ちでいっぱいです。大山町に住んでシルバーにも感謝。パン作りに感謝です。ありがとう。



美味しいパンが好きだから
我が家はいつも
パン屋さん♪

スクールの歌です
これからも出会いを
大切にしたいです

趣味のひととき



公益社団法人鳥取市シルバー人材センター

箕輪雅晴

若い頃夢中になった趣味といえば、テニス、山登り、魚釣りともっぱら体育系で、音楽や絵画など芸術系は小学校の頃から大嫌いな分野であった。

しかし、現役引退を機に今まで最も不得意としていた分野に挑戦しようと思ひ、まずクラシックギターに挑戦したが、コーチについて十年間頑張ってみても人前で演奏できるようなレベルに達することが出来ず挫折した。

そこでシャッターを押すだけなので簡単だろうと、写真撮影を始めた。

ご存知の通り現在のカメラはほとんどがデジタルカメラであり、光学機器とエレクトロニクス機器の合体されたハイテク機器であり、技術系で育った私にとって肌が合ったのか、すっかりはまってしまった。

現像もフィルム時代とは違い、パソコンで現像ソフトを操りながら仕上げていく過程は技術屋にとってはなんの抵抗感もなくむしろ楽しい作業である。

とは言っても一番大事なのは感性であり、後期高齢者になった自分に感性が磨けるのかは大きな疑問

である。

ただ、写真を始め、「朝夕に射しこむ光の美しさ」、「日本海に沈む夕日の神々しさ」、「哀愁を誘う漁火」、「朝日に映える飛沫」、「嵐の翌朝に見る風紋の美しさ」、「踊る若者の弾けるような躍動感」、「春の桜」、「秋の紅葉」と感性をくすぐる事柄があちこちにあることに気づくようになった。

写真は「すっきり」、「はっきり」、「どっきり」と言われます。余分なものを「そぎ落とす」、「目標を明確に」、「あっと驚かせる」写真が、いつか撮れるようになりたいものです。



傘の舞



満開



雨に煙る蕎麦の里



ここにおいて



砂と水の惑星



仏の郷



弾ける若さ



水中風紋



公益社団法人 岩美町シルバー人材センター

事務局長 上野 秀司

何年かに一度無性に音楽（弾き語り）をやりたくなる時があります。素晴らしい演奏を観たり聞いたとき。「俺にもできる」「きつとできるはず」と妙な自信に駆られて、そのたびにギターに向かい、何処かで一度だけ歌ってはやめる、近年そんな繰り返しをしてみました。

しかし、昨年の年末に、隣の歌声酒場で、この

人と一緒にやってみたいと、心をくすぐられる男性と出会いました。自分からアプローチをして連絡先を交換し、まるで意中の彼女を口説き落とすかのようになり、披露する場も確保しながら、夏に向かつて週に一度隣町まで車を走らせ、二時間余り練習しては帰るような時間を三か月あまり過ごしました。

この夏、披露する場合は、なんと三回もあり、一つのステージが終われば、また次の新しい曲の練習をする、そんな感じで、約十五曲のレパートリーが出来ました。

ステージを終えるたびに数々の反省点があり、それを少しでも克服できるように努力を重ねる、練習を重ねる、今までの自分自身では考えられないくらい練習した今年の熱い夏でした。

夏が終わる秋になると、披露する予定がなくなり、さてこれからどうしようかなと思いい悩みましたが、練習は継続してスキルを上げ続けようと決めて、今でも、休みの日には、隣町で練習を続けます。

自分一人なら、今までのようにきつと自己満足で終わったと思います。最良の師匠と出会えたことで、足を引っ張ってはいけない、迷惑をかけるはいけないと思うようになったことが一番成長できたことだと思います。

自分を成長させてくれている師匠に感謝しながら、これからもぼちぼちや



ついでこうと思います。皆さんのお近くで歌うことがあれば、その時は是非、足を止めて聞いてやってください。お会いできるのを楽しみにしておきます。ではまた。

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社)鳥取市シルバー人材センター	田中 勉	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社)米子広域シルバー人材センター	仲村 一男	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	山脇 誠	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社)境港市シルバー人材センター	高松 武美	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社)南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社)智頭町シルバー人材センター	小林 實夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	渡横 正章	681-0065	岩美郡岩美町新井269	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社)湯梨浜町シルバー人材センター	小居 貞歳	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	西川 昌康	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春壽	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	段塚 傑	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



新年明けまして
おめでとう
ございます

HAPPY NEW YEAR
2020



表紙に寄せて

国宝・三徳山投入堂

修験道を開いた役行者が法力で投げ入れたと
伝えられる鳥取県三朝町の国宝・三徳山投入堂。

二〇一五年には、日本遺産第一号の認定を受
け、地元住民による日本遺産カイドも活躍中。

あ
と
が
き

今回も、関係各位のご協力によりまして第三十四
号の発行を迎えることが出来ました。

まずもって、厚くお礼申し上げます。

二〇一九年は、四月二十日で平成の幕が閉じら
れ、五月から新元号「令和」になった歴史的な年と
なりました。

ラグビーワールドカップでの大活躍、消費税アッ
プ、台風や大雨、高齢者の自動車事故のニュース等、
いろいろなことがあった一年でした。

令和二年は、東京オリンピック・パラリンピック
もあり皆様にとつてより良い年になりますようお祈
り申し上げます。

会報 鳥 取 第三十四号

令和二年一月発行

発行 公益社団法人

鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地 〒683-0811

鳥取県米子市角盤町一丁目七六

電話 ☎0859-371-2531

FAX ☎0859-371-2537

